

かわと生きる  
『光南水辺の楽校 ～札内川～』



自然を学び、自分たちの遊ぶフィールドを  
自分たちの手で守っていく

札内川と根室本線が交差する帯広市光南地区で開催されている「水辺の楽校」は、近くの保育園児たちを対象に行われている。平成28年度の水害で被害を受けた河川敷の清掃から始まり、植樹など失った自然を少しずつ再生している。保育園が川の側にあるので普段から園児たちのお散歩コースとなっているが、年1回開催されるこの「水辺の楽校」は河川環境のプロの方の指導によってより川の自然に触れ、学ぶことができる機会となっている。

活動内容は、水生生物の捕獲や観察、手で触れることによって様々な特徴を知ることができ、子ども達の好奇心をくすぐっている。河川敷では木のぼりや、植樹を行い、ベリー系など実のなる木がメインで収穫も楽しむこともできる。「水辺の楽校」を運営しているNPO法人十勝多自然ネットの伊豆倉さんは、楽しそうにしている子ども達の表情を見ながらこの学びの場を今後も継続できるように努力していきたいと語る。

水遊び、木登り、植樹  
遊ぶことで川を知り  
自然を理解する



網を使って水生生物を捕獲する。この日は雨の影響もあり川の水位が高かったため、大人達が頑張ってたっくさん捕まえました！



伊豆倉 米郎

NPO法人十勝多自然ネット専務理事。水辺環境における人と自然との調和についての調査研究、環境教育・啓発に関する事業を行い継続的な自然の豊かさを遺すことを目的として活動している。



札内川光南地区水辺の楽校

□所在地／帯広市東10条南21丁目

□問合せ／帯広河川事務所

以前から川遊びを楽しめる場所だったため、親水護岸や散策路等を整備しています。高水敷の河畔林には、巣箱を設置しており、野鳥の観察もできます。

